



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月19日

上場会社名 株式会社 エンプラス 上場取引所 東
 コード番号 6961 URL https://www.enplas.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼経営執行役員 (氏名) 堀川 裕司 TEL 03-6268-0259
 財務経理本部 本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	8,286	3.3	852	19.7	798	△13.1	630	24.6
2019年3月期第1四半期	8,019	△5.3	712	△45.5	919	△28.6	505	△49.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △7百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 684百万円 (△35.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	49.91	—
2019年3月期第1四半期	39.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	56,662	50,743	88.8	4,043.73
2019年3月期	56,656	51,606	90.4	4,017.45

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 50,335百万円 2019年3月期 51,212百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	40.00	—	15.00	55.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	15,200	△6.2	800	△40.6	800	△52.9	560	△45.6	44.99
通期	32,000	2.3	2,000	15.2	2,000	6.5	1,400	320.4	112.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	18,232,897株	2019年3月期	18,232,897株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	5,784,989株	2019年3月期	5,485,416株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	12,629,667株	2019年3月期1Q	12,795,206株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2019年7月19日（金）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国において個人消費が堅調に推移し、輸出も持ち直す一方で、企業の景況感は悪化しました。中国においては、米国による関税引き上げの影響を受けて輸出が弱含み、インフラ投資も伸び悩みました。新興国・地域では先行きの不透明感から総じて通貨安となり、内需も減速基調となりました。わが国経済はインバウンド需要の回復が見られ、設備投資も持ち直しましたが、企業の景況感には弱さが見られました。また、米国のEUに対する追加関税の検討や、日韓の緊張の高まりなど、当社を取り巻く環境は予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、更なる成長を目指すため、「現場を大切に、足元を固める」を今期の経営基本方針とし、グローバル競争の激化を始めとする環境の変化に迅速に対応することで企業価値の向上及び株主価値の最大化を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は8,286百万円（前年同期比3.3%増）となり、営業利益は852百万円（前年同期比19.7%増）、経常利益は798百万円（前年同期比13.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は630百万円（前年同期比24.6%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

「エンブラ事業」

自動車用部品は、米国、中国における乗用車販売が伸び悩みましたが、受注は底堅く推移しました。プリンター用部品は、非日系顧客への販売は増加したものの、国内主要顧客からの受注が減少しました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,337百万円（前年同期比6.5%減）、セグメント営業損失は216百万円（前年同期は81百万円のセグメント営業利益）となりました。

「半導体機器事業」

各種ICテスト用ソケット、バーンインソケットは、米国、中華圏における販売が好調に推移し、また、欧州における車載用途の受注も増加しました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,800百万円（前年同期比21.6%増）、セグメント営業利益は754百万円（前年同期比86.9%増）となりました。

「オプト事業」

光通信関連の光学デバイスは、競争環境の変化により力強さを欠きました。LED用拡散レンズは、当社レンズを採用するモデルが増産されたことに加え、主要顧客における当社のシェア向上により堅調な受注を獲得しました。また、構造改革の効果により固定費が減少しました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,148百万円（前年同期比13.4%減）、セグメント営業利益は315百万円（前年同期比38.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は56,662百万円となり、前連結会計年度末比5百万円の増加となりました。流動資産につきましては239百万円減少しました。主な変動要因は未収還付法人税等で990百万円、受取手形及び売掛金で469百万円増加したものの、現金及び預金で1,702百万円減少したことによるものです。固定資産につきましては245百万円増加しました。主な変動要因は無形固定資産で164百万円減少し、有形固定資産で268百万円、投資その他の資産で141百万円増加したことによるものです。

負債は5,918百万円となり、前連結会計年度末比で869百万円の増加となりました。流動負債につきましては727百万円増加しました。主な変動要因は賞与引当金で201百万円、未払金で93百万円減少したものの、その他で1,143百万円増加したことによるものです。固定負債につきましては141百万円増加しました。主な変動要因はその他で152百万円増加したことによるものです。

純資産は50,743百万円となり、前連結会計年度末比863百万円の減少となりました。主な変動要因は自己株式の取得により916百万円、利益剰余金で686百万円増加し、為替換算調整勘定で657百万円減少したことによるものです。その結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は88.8%となり、前連結会計年度末比で1.6ポイント減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月19日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,405	23,703
受取手形及び売掛金	7,010	7,479
製品	983	939
仕掛品	572	671
原材料及び貯蔵品	1,425	1,440
未収還付法人税等	114	1,104
その他	1,319	1,252
貸倒引当金	△11	△12
流動資産合計	36,818	36,578
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,044	2,985
機械装置及び運搬具（純額）	1,806	1,622
土地	6,792	6,786
その他（純額）	1,520	2,038
有形固定資産合計	13,164	13,432
無形固定資産		
ソフトウェア	331	408
のれん	1,484	1,370
その他	445	317
無形固定資産合計	2,260	2,096
投資その他の資産	4,413	4,554
固定資産合計	19,837	20,083
資産合計	56,656	56,662

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,325	1,272
未払金	860	767
未払法人税等	328	293
賞与引当金	505	304
役員賞与引当金	40	7
その他	862	2,006
流動負債合計	3,923	4,651
固定負債		
退職給付に係る負債	45	48
訴訟損失引当金	474	461
その他	605	757
固定負債合計	1,125	1,267
負債合計	5,049	5,918
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,080	8,080
資本剰余金	7,569	7,569
利益剰余金	48,997	49,684
自己株式	△14,130	△15,047
株主資本合計	50,516	50,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	312	323
為替換算調整勘定	383	△273
その他の包括利益累計額合計	696	49
新株予約権	262	287
非支配株主持分	132	119
純資産合計	51,606	50,743
負債純資産合計	56,656	56,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	8,019	8,286
売上原価	4,423	4,589
売上総利益	3,596	3,696
販売費及び一般管理費	2,883	2,843
営業利益	712	852
営業外収益		
受取利息	27	44
受取配当金	9	9
スクラップ売却益	5	17
為替差益	231	—
その他	14	21
営業外収益合計	289	92
営業外費用		
固定資産賃貸費用	6	5
持分法による投資損失	65	50
為替差損	—	82
その他	10	7
営業外費用合計	82	146
経常利益	919	798
特別利益		
固定資産売却益	0	15
特別利益合計	0	15
特別損失		
固定資産売却損	0	8
その他	0	1
特別損失合計	1	10
税金等調整前四半期純利益	918	803
法人税、住民税及び事業税	333	246
法人税等調整額	67	△86
法人税等合計	401	159
四半期純利益	517	643
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	505	630

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	517	643
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	11
為替換算調整勘定	200	△662
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	0
その他の包括利益合計	167	△651
四半期包括利益	684	△7
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	674	△16
非支配株主に係る四半期包括利益	10	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年1月4日及び2019年4月26日開催の取締役会決議に基づき、自己株式299,500株の取得を行いました。この結果、当第1四半期累計期間において自己株式が916百万円増加し、当第1四半期会計期間末において自己株式が15,047百万円となっております。

(会計方針の変更)

当第1四半期連結会計期間より一部の海外子会社においてIFRS16号「リース」を適用しております。当該会計基準の適用にあたり、当社グループは経過措置として認められている累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結貸借対照表において有形固定資産の「その他」が391百万円、流動負債の「その他」が130百万円、固定負債の「その他」が263百万円それぞれ増加しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。